

# 9. 【会津】会津地域「つながるDX」推進事業

予算額（10,000千円）

## 会津地域の課題

新規 一部新規・継続

生産年齢人口の減少によって、デジタル技術による効率化が急務となっているが、取組については、自治体によりバラツキが生じている。なかでも会津地方では自治体の人材確保も厳しさを増すなかで、行政サービス維持のためには効率化が不可欠となる。

ひと・暮らし・しごと・人の流れ

## 連携・共創の視点及び取組の独自性

産 官 学 金 労 言 士

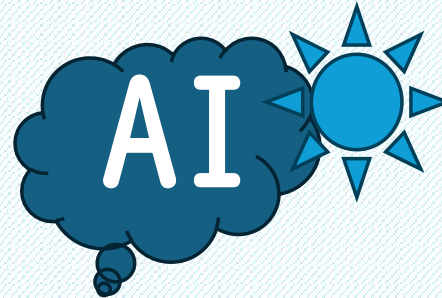
会津地域のDX人材や技術といった「宝」を活用し、人口減少に対応した自治体DXモデルを構築する。会津地域13市町村と県で構成する連携会議が中心となり、各首長の理解を得ながら、検討・調整を進め、地域課題の解決を図る。

〈アウトプット目標値〉  
地域のデジタル変革（DX）による  
新しい価値の創出数： 4件

## 取組の内容

### 取組名 地域課題の解決・実装

生産年齢人口の減少による課題解決を図るため、会津大学やAiCTと連携し、地域資源を最大限活用した事業を推進する。学生による課題解決の実装支援や専門人材の配置、スマートシティサービスの広域展開を柱に据え、AI活用や研修を通じた業務効率化とあわせ、持続可能な地域社会を構築する。



### 取組のポイント

- 1 大学の知見を現場の実装まで繋ぐ伴走支援
- 2 高度なサービスを低コストで広域展開
- 3 地域の課題を地域の資源で解く実装と人材育成の同時実現

## 当事業で目指す姿

自治体・大学・企業が連携し、若者の参画を通じて地域の課題解決を加速させることで、地域社会の持続を目指す。

